

## オーディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(319)(HP 収載)

#### —ビゼーの《カルメン》—

##### 1. 始めに

前報(318)に引き続き、STAGE+のビゼーの《カルメン》の演奏の試聴を実施します。

##### 2. 試聴音源

今回は、前報(318)に引き続きビゼーの《カルメン》を選びました。

フランスのメゾソプラノ、ステファニー・ドウストラックが歌う《カルメン》  
エクス=アン=プロヴァンス音楽祭

収録日: 2017年7月6日

この映像は、エクス=アン=プロヴァンス音楽祭で上演されたビゼーの名作《カルメン》。世界が注目するスペインの気鋭指揮者、パブロ・エラス=カサドと、ロシアの鬼才演出家、ドミトリー・チェルニャコフが刺激的な舞台を作り上げています。タイトルロールを歌うのは、フランス出身で古楽でも活躍するメゾソプラノのステファニー・ドウストラック。彼女は、新国立劇場やベルリン・ドイツ・オペラでもカルメンを演じるなど、この役を十八番としています。

ソリスト:

エルザ・ドライシヒ (ソプラノ)、ガブリエル・フィリポネ (ソプラノ)、ステファニー・ドウストラック (メゾソプラノ)、ヴィルジニー・ヴェレーズ (メゾソプラノ)、マイケル・ファビアーノ (テノール)、マティアス・ヴィダル (テノール)、マイケル・トッド・シンプソン (バリトン)、ギヨーム・アンドリュー (バリトン)、ピエール・ドワイアン (バリトン)、クリスチャン・ヘルマー (バリトン)

演奏:

パリ管弦楽団、アンサンブル・ヴォーカル・アエデス、ブーシュ・デュ・ローヌ聖歌隊

指揮:

パブロ・エラス=カサド

曲目:

ジョルジュ・ビゼー 歌劇《カルメン》



### 3. 試聴の経過

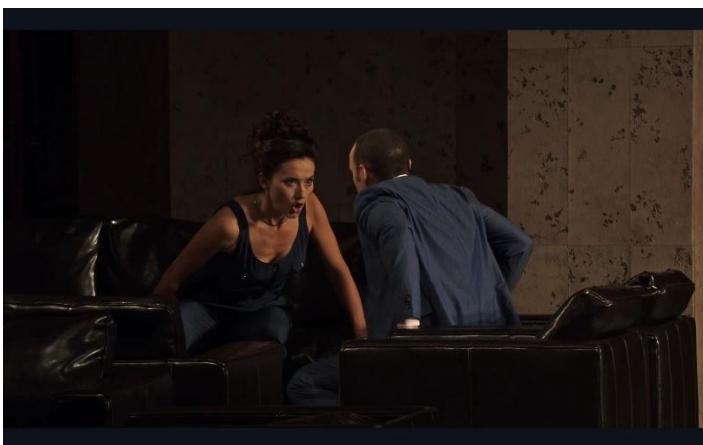
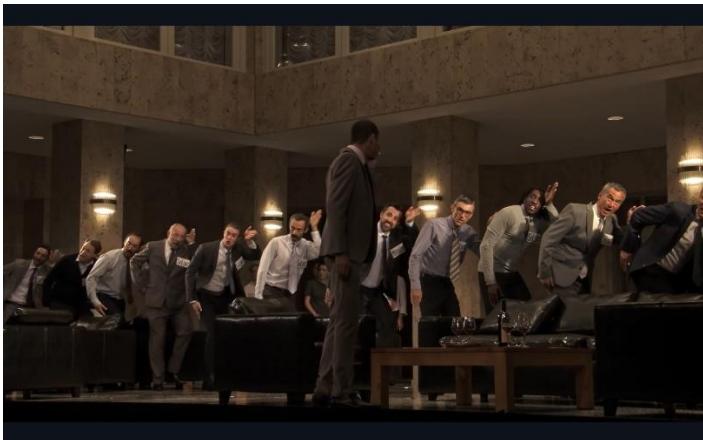
前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、下記のとおり、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

ステージや歌手の衣装は現代風のアレンジで、さほど面白味はありません。オーケストラや歌唱は、次から次へとお馴染みのものが多く、演じられていきます。カルメンを演じるメゾソプラノのドウストラックは、古楽でも活躍しているところで、これまでのカルメン歌手と違って、おちついた清らかな歌唱です。また、ステージの展開も現代風であり、これまでの情熱的なカルメンのイメージとは違いますが、多くの登場人物の歌唱やオーケストラは明晰です。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ステージの構成は現代風で、これまでの情熱的なイメージと違った現代的な落ち着いた表情を見せていました。

以上